



Web製作会社が60以上の WordPressサイトを効率的 に管理するコツ

KINSTA



常に最新のバージョンについては、
上記のQRコードまたは次のURLにアクセスしてください
<https://kinsta.com/jp/ebooks/>

発行 **KINSTA**

Web製作会社が60以上のWordPressサイトを効率的に管理するコツ

Web製作会社が60以上のWordPressサイトを効率的に管理するコツ

目次

7

優れたメンテナンスサービスの基盤:適切なプロバイダーの選択

11

WordPressサイトを移行する方法

15

クライアントのサイトのバックアップを適切にこなす

20

クライアントのサイトを最新の状態に維持する

25

クライアントのサイトの安全性を保つ

29

クライアントのサイトのパフォーマンスを改善する

34

クライアントのサイトでのトラブルシューティング

39

おまけ:MyKinstaを少しだけご紹介

ウェブサイトを通じてクライアントの事業の成長を支援することこそ、貴社の役割でしょう。

しかし、皆さまもよくご存じの通り、サイトの開設は第一歩に過ぎません。サイトが正常に機能し続けるには、更新、最適化、デバッグ、セキュリティチェックが必要です。

そのため、ウェブ開発者にとって保守やホスティングのパッケージは、メインのサービスにしても、新規サイト開発案件の追加サービスにしても、非常に利益の高い分野です。定期的な収益源となるだけでなく、クライアントとの信頼関係を築き、新規案件での再度の依頼にもつながります。

サービスの質を落とすことなくクライアント数を増やし、ウェブサービスの事業規模を拡大するためには、タスクを合理化、効率的なツールを使用し、適切なパートナーを選ぶことが何より重要です。

このガイドでは、サイト管理の規模を効率的に拡大し、クライアント数と利益を増加させるためのコツやツールをご紹介します。

ご説明する内容は、以下の通りです。

- 優れたメンテナンスサービスの基盤～適切なプロバイダーの選択～
- WordPressサイトの移行(お引っ越し)方法
- クライアントのサイトで適切にバックアップを行う
- クライアントのサイトを最新の状態に保つ
- クライアントのサイトの安全を維持する
- クライアントのサイトのパフォーマンス向上
- クライアントのサイトで発生した問題のトラブルシューティング
- MyKinstaダッシュボードを少しだけご紹介

第1章

優れたメンテナンスサービスの基盤:適切なプロバイダーの選択

サイトホスティングについて触れずして、メンテナンスのベストプラクティスについて語ることはできません。

何故ならサイトのホスティング環境によって、サイト管理者であるあなたがクライアントにどのようなサービスを提供できるかが大きく異なるからです。

最適化されていない、安い共用サーバーには、様々な問題点や制限があり、サービスの質が下がってしまうため、クライアントにとってもあなたのビジネスにとっても決して最適な選択とは言えないでしょう。

クライアントに最高の選択肢を提示することが、プロとしての役割です。そのため、クライアントが利用しているレンタルサーバーを常に評価し、それがクライアントの希望する結果にどのような影響を与えるかを検討するとともに、どれほどの手間がかかるかも予想する必要があります。

調査をする上で、次のような点を考慮しましょう。

- クライアントはどの程度サイト管理へ関与することを希望しているか
- クライアントにはどの程度技術的知識があるか
- クライアントの既存のサーバーではどのようなツールが採用されているか
- クライアントの既存のサーバーのサポートの質、積極性はどの程度か

これらの項目は、評価を開始する際の取っ掛かりになるでしょう。そして、調査結果によっては、デメリットがメリットを上回る場合、クライアントのサイトの一部または全体を移行する必要性が生じることもあるかもしれません。

Kinstaのエージェンシーパートナープログラムのご紹介

提供サービスにホスティングを新たに加えるのは、クライアントのニーズに応え、定期的な収益を得るのに最適な方法です。

一方で、様々な課題も伴います。ご自身のウェブサーバーを管理するのは手間がかかる上、クライアントのデータをオンラインで安全に保護するには専門性が必要です。

そこでご紹介したいのがKinstaのエージェンシーパートナープログラムです。パフォーマンス、セキュリティ、サポートに大いに力を注ぐマネージドWordPressホスティングであるKinstaが、サーバーに関するあらゆる面倒な作業を全てお引き受けいたします。そのため、お客様は事業の拡大に専念することができます。

Kinstaのエージェンシーパートナープログラムにご加入頂くと、次の特典がご利用いただけます。

- 個々のサイトの複雑さに関わらず、無制限の無料サイト移行枠
- 貴社サイトの無料ホスティング
- プラグイン「Clear Cache」のホワイトラベル化
- 貴社にてホスティングする全てのサイトのバックアップを30日間保存
- ハッキング対処保証の期間延長
- チームメンバーを無制限かつ無料で追加可能
- 多様なニーズに対応した幅広いカスタマイズが可能なプラン
- スマート管理ツール
- 新規ツールを先行利用可能

当社では、自社の強みであるWordPressのコーディングに専念したいと考えていました。ホスティングは専門的な領域です。自己ホスティングを行っていた際、コストの分析を実施しました。その結果、DevOpsのシステム管理やバグやメンテナンスの処理に多くの時間を割いていることが分かりました。



Motto Design Studio
最高技術責任者 Greg Hunt氏

Kinstaは信頼できるため、毎晩安心して眠れます。現時点で100近くのサイトを管理していますが、これまで問題が発生したものは1つたりともありません。Kinstaは本当に素晴らしい仕事をしてくれています。これは当社の事業において非常に重要なことです。Kinstaのおかげで良い仕事ができ、お客様にご満足いただけるサービスを提供できています。



Motto Design Studio
最高経営責任者、Julian Fernandez氏

Kinstaのエージェンシーパートナープログラムに是非ご加入ください。余計な手間に煩わされることなくクライアントにホスティングサービスを提供することができます。

クライアント向けにホスティングサービスを提供するご予定がない方は、是非Kinstaの[アフィリエイトプログラム](#)をご検討下さい。Kinstaをご紹介いただくと、紹介1件につき最大500ドルに加え、永続的に毎月10%の紹介手数料をお支払いいたします。こちらはホスティングサービス業界でトップクラスの紹介料となっています。

第2章

WordPressサイトを移行する方法

クライアントのサイトをあなたのお勧めのレンタルサーバーに移行しなければならないケースはいくつか考えられます。[移行は一筋縄ではいかない](#)ことも—そんな事実は、プロでいらっしゃるあなたは既にご存知のことでしょう。

外部のプラグインを利用する場合、適切に行わなければ全てがきちんと移行されず、サイトの移行後にデータが失われてしまうこともあります。

それでも移行をしたいという場合、次の移行用プラグインがお勧めです。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. Duplicator | 4. Super Backup & Clone |
| 2. Migrate Guru | 5. VaultPress |
| 3. WP Migrate DB | 6. Backup Guard |

どのようなプラグイン、ツールでサイトを移行するにしても、クライアントの既存のレンタルサーバーにて、[どのようなツールが許可されているか](#)を事前によく確認することが重要です。

規模の大きなサイトや複雑なサイトを自分で移行するのはとても大変な作業で、全ての移行プロセスがスムーズに進まなかった場合、サイトの一部もしくは全体が失われてしまうこともあります。そのため、移行のプロに一任するのが得策です。

弊社ではありとあらゆる主要レンタルサーバーを使用してきました。その中でもKinstaは非常に高速で、サポートも充実しています。現にすべてのクライアントをKinstaサーバーに移行し、満足して使い続けています。



inklinemedia, Brent Martel氏

Kinstaでのサイト移行

Kinstaではご利用のプラン、ご利用中のWordPressサイトの種類、移行したいサイトの数によって[複数パターンの移行オプション](#)からお選びいただけます。

Kinstaでサイトを移行された場合、通常ダウンタイムは発生せず、サイトが公開状態になる前の移行サイトの動作確認もスタッフがお手伝いいたします。

クライアント毎の最適な移行プロセスをMyKinstaダッシュボードより直接お選びいただけます。

The screenshot shows the Kinsta dashboard with a sidebar on the left containing navigation items like 'Dashboard', 'Sites', 'Kinsta DNS', 'Analytics', 'Billing', 'Users', 'Activity Log', and 'Help Center'. The main content area is titled '移行申請' (Migration Request). It contains the following text: '現在、お客様が所持のプレミアムサイト移行クレジットは3回分です。' (Currently, you have 3 premium site migration credits.) followed by 'プレミアムサイト移行クレジットを1つ消費する毎に、1つのWordPressサイトをKinstaに移行できます。' (For every premium site migration credit you consume, you can migrate one WordPress site to Kinsta.) and 'サイト移行を申請し、その後の手順はKinstaのエンジニアにお任せください。移行完了後には、サイトの確認作業をお任せいたします。また、お客様によるご確認の際は、ドメインとKinstaを移行する方法をご案内いたします。' (Apply for site migration and let our engineers handle the subsequent steps. After migration is complete, we will leave the site confirmation work to you. Additionally, we will provide guidance on how to migrate your domain and Kinsta when you need to check.) Below this text are two buttons: a blue button labeled 'プレミアムサイト移行を申請する' (Apply for Premium Site Migration) and a grey button labeled '標準サイト移行を申請する' (Apply for Standard Site Migration). Blue arrows point to the blue button and a grey arrow points to the grey button. To the right of the text is an illustration of a person sitting at a desk with a laptop, looking at the screen.

「プレミアムサイト移行」と「標準サイト移行」のボタンはMyKinstaの「移行申請」メニューよりご利用頂けます。

「プレミアムサイト移行」は複雑な操作が必要になるサイトの移行専用です。主に動的なサイト(ECサイトやメンバーシップサイトなど)や、リバースプロキシを利用したサイトなどがこれに該当します。これらのサイトでは通常、メンテナンスモードに切り替えたり、データ損失を防ぐために慎重に更新のスケジュールを組んだりといった追加のセットアップが必要になります。

MyKinstaからいずれかの移行サービスを利用するには画面左側の「移行申請」をクリックし、クライアントのサイトに最適なオプションを選択します。

無料で移行できるサイトの数はご利用のプランにより異なります。全てのプランには少なくとも1つのプレミアムサイト移行枠が含まれています。これとは別に、次のレンタルサーバーからの移行の場合、無制限で無料となります。

- WP Engine
- Flywheel
- SiteGround
- Pagely
- Pantheon
- Cloudways
- GoDaddy
- DreamHost
- Bluehost
- HostGator
- A2 Hosting
- tsoHost
- WPX Hosting
- XServer
- Sakura Internet
- Lolipop

また、プラン内で移行できるサイトの上限を超える場合、[追加の移行サービスを一括購入](#)すると割引料金が適用されます。

移行するクライアントのサイトの数が1つであろうと、10個であろうと、40個以上、60個以上であろうと、Kinstaの専門チームが円滑に移行の手続きを行いますので、ご安心の上、お任せいただけます。[無料移行サービス](#)を是非ご活用ください。

さて、それでは本題のメンテナンスに進みます。

早速、その内容を見ていきましょう。

第3章

クライアントのサイトの バックアップを適切に こなす

WordPressサイトのメンテナンスにおいて非常に重要な要素の一つがバックアップです。アップデートを行った後に不具合が発生したとしても、きちんとバックアップをとっていれば、元に戻すことができます。

堅牢かつ強力なバックアップシステムの確保のために、通常の一般的なメンテナンス業務以上の策が必要になります。また、[WordPressのバックアップ](#)はセキュリティ面から見ても必要不可欠です。クライアントのサイトに何らかの方法で[ハッキング](#)、書き換え、損傷があった場合、バックアップデータ一覧を参照し、元の状態、もしくは直近のバージョンに復元する操作が大きな意味を持ちます。

サイトを記録しバックアップをとる方法は2つあります。1つ目は自動バックアップサービスを提供するレンタルサーバーを選ぶこと。2つ目は[優れたWordPressバックアップ用プラグイン](#)の中から、目的に合ったものを選ぶことです。

それぞれをもう少し詳しく見ていきましょう。

Kinstaのバックアップ機能

Cアップデートを行ったり、[テーマを編集](#)したり、プラグインをインストールしたりと、クライアントのサイトのメンテナンス作業を行う際、適切なバックアップシステムがあれば、ストレスなく作業を進めることができます。

Kinstaではプラグインやサードパーティツールへの依存を排除し、6種類のバックアップ機能を備えた[充実のバックアップシステム](#)をご提供しています。

- 毎日: Kinstaでは24時間毎に全てのクライアントのサイトのバックアップが自動で作成されるので、夜間には安心してお休み頂けます。
- 1時間に1回:より頻繁なバックアップが必要な場合、指定したサイトを6時間毎または1時間毎に自動でバックアップする設定も追加できます。
- 手動:自動バックアップでは不十分な場合、管理しているサイトそれぞれのバックアップを手動で作成することもできます。この追加のバックアップデータは14日間またはそれ以上(ご利用中のプランに依拠)保持されます。
- システム生成:MyKinstaの「検索と置換」ツールの使用、ステージング環境から本番環境への切り替え、本番環境でのバックアップの復元など、重要な作業を行う前にはシステムにより自動でバックアップが生成されます。
- ダウンロード: サイトの全てのファイルとMySQLデータベースを含むzipファイルを、週に1度ダウンロードできます。
- 外部:さらに、外部バックアップオプションでは、週1回もしくは月1回の頻度でAmazon S3またはGoogle Cloud Storageのいずれかに自動でWordPressサイトのバックアップを作成することができます。

kinstalife 環境 環境の切り替え

環境のバックアップ

毎日 毎時 手動 システム生成 外部 ダウンロード

サイトは毎日自動的にバックアップされる設定です。
毎日作成されるバックアップデータは14日間保持されます。

作成日	復元
2021年7月18日 20:52	復元先を選択
2021年7月17日 20:38	復元先を選択
2021年7月16日 20:26	復元先を選択
2021年7月15日 20:17	復元先を選択

サブメニューの「バックアップ」からそれぞれのバックアップのオプションを選択(MyKinstaの**見本**でこの機能を無料でお試し可能)

これらのバックアップオプションは、管理している1つ1つのサイトに対して利用可能です。サイトが増えれば増えるほど、この機能が与えてくれる安心感は、底知れぬものになることでしょう。

バックアップシステムの一環として、どんなサイトでも[ワンクリックで簡単に復元](#)できる機能も備わっています。

それでも、どうしてもバックアップ用プラグインを使用したい方もいるかもしれません。その場合には、Kinstaではディスク容量とサイトパフォーマンスを損なわずにバックアップを作成するのに最適な方法である[増分バックアップ](#)をご利用頂けます。

オススメのバックアッププラグイン

ご利用中のレンタルサーバーにバックアップ機能がない場合、プロセス自動化のためには[バックアップ用プラグインをインストールし、設定](#)する必要があります。

WordPressのバックアップ用プラグインでは、FTP経由でバックアップを取得したり、Amazon S3、Google Cloud Storage、Google Drive、Dropboxなどの外部ストレージリソースと連携したりすることができます。

- Duplicator
- WP Time Capsule
- BackUpWordPress
- BackWPup
- WP BackItUp

より慎重に、事前に[手動のバックアップ](#)をとりたいという方は、[MyKinsta](#)から、ほんの数クリックでバックアップを作成できます。また、お好みのプラグインを使って手動バックアップをとることも可能です。

用心するに越したことはないものです!!

MyKinstaでのバックアップ作成がどれほど簡単か、是非無料でご体験ください!



第4章

クライアントのサイトを 最新の状態に維持する

Web制作会社にとってクライアントのサイトの管理、メンテナンスで最も重要な要素の1つが、サイトを最新の状態に保つことです。[テーマ](#)や[プラグイン](#)、さらにWordPress自体を定期的にアップデートすることが重要になります。

アップデートが重要な理由

プラグインのアップデートが必要である理由は次の3つです。

- 多くのアップデートには[セキュリティ](#)パッチが含まれ、これをインストールしておけばクライアントのサイトの安全性が高まる
- テーマやプラグインをアップデートすると最新の機能が利用できる
- テーマやプラグインのアップデートの中には最新版との互換性を担保するためのものもあり、アップデートはサイト内での問題発生を防ぐ術になる

定期アップデートは手動で行ってもいいですし、自動アップデートを設定して時間と手間を省いてもいいでしょう。どちらにしても、まずはステージング環境でアップデートを行い、問題がなければ本番環境でもアップデートを実行するようにしましょう。

MyKinstaダッシュボードからワンクリックでステージング環境を作成

Kinstaでは全てのホスティングプランで[ステージング環境](#)が利用できます。つまり、クライアントの本番環境に反映する前に安全な環境でプラグインやテーマのアップデート、[コアアップデート](#)を試すことができます。

MyKinstaでのステージング環境作成はワンクリックで完了します。



MyKinstaの「環境の切り替え」ボタンから本番環境とステージング環境を切り替えられます。
[MyKinstaの見本](#)でこの機能を無料でお試しください。

ステージング環境を作成するには上部右側のドロップダウンメニューから「環境の切り替え」をクリックし、「ステージング環境」を選択します。既存のステージング環境が存在しない場合、「ステージング環境の作成」ボタンをクリックします。



MyKinstaでステージングサイトを本番環境へ反映。[MyKinstaの見本](#)でこの機能を無料でお試しください。

アップデートとテストに特に問題がなければ全ての変更をボタン一つで、クライアントの本番環境に反映することができます。

DevKinstaを利用しローカル環境で開発

ローカル環境での開発ツールが必要な場合、[DevKinsta](#)がぴったりです。

DevKinstaを利用すると素早く、そして容易に[ローカル環境でのサイトの作成と開発](#)が可能です。完全無料で(Kinstaのプランをご利用の方以外も)、現在macOS、Windowsでご利用いただける他、Linux版も今後登場する予定です。

DevKinstaを利用し、ローカルマシンからWordPressを設計、開発、デプロイしましょう。DevKinstaには次の機能が備わっています。

- [メール受信箱機能](#)でメールの問題を解決
- [データベースマネージャー](#)でデータを閲覧、操作
- Kinstaのステージング環境または本番環境にコンテンツを[プッシュ、プル](#)し、プロジェクトを公開

Web制作会社にとってDevKinstaはテストや更新、開発の最中にサイトが破損してしまうのを防ぐ強い味方となるでしょう。

DevKinstaをお試ください
無料ダウンロードはこちら»

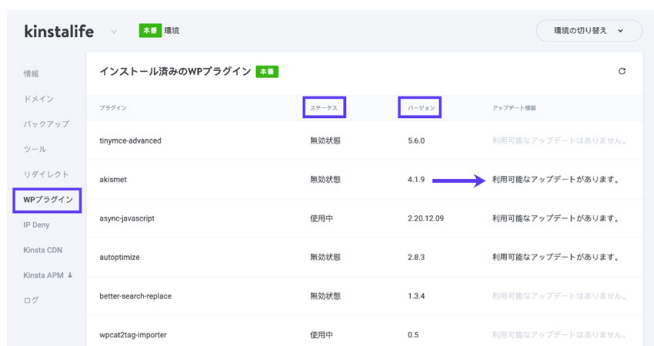


使用していないテーマとプラグインの削除

使用していないテーマやプラグインを削除すると、クライアントのサイトを最新状態にアップデートする作業が非常に楽になります。

クライアントのサイトにインストールしている全てのテーマとプラグインは互換性や安全性の問題を引き起こす潜在的な要因になり得るので、実際に使用しているテーマやプラグイン以外を削除してしまうのが合理的でしょう。

MyKinstaでは、それぞれのサイトにインストールしたプラグインの一覧をいつでもご確認頂けます。



The screenshot shows the 'MyKinsta' dashboard for a client named 'kinstalife'. The main content area is titled 'インストール済みのWPプラグイン' (Installed WP Plugins). A sidebar on the left contains a menu with 'WPプラグイン' (WP Plugins) highlighted. The main table lists the following plugins:

プラグイン	ステータス	バージョン	アップデート情報
tinymce-advanced	無効状態	5.6.0	利用可能なアップデートはありません。
akismet	無効状態	4.1.9	利用可能なアップデートがあります。
async-javascript	使用中	2.20.12.09	利用可能なアップデートがあります。
autoptimize	無効状態	2.8.3	利用可能なアップデートがあります。
better-search-replace	無効状態	1.3.4	利用可能なアップデートはありません。
wpcat2tag-importer	使用中	0.5	利用可能なアップデートはありません。

サブメニューの「WPプラグイン」からプラグインの一覧をご確認いただけます。

具体的には、管理しているそれぞれのクライアントのサイトに「WPプラグイン」というタブがあり、インストールした全てのプラグインとそのステータス(有効または無効)、現在のバージョン数、利用可能なアップデートがあるかどうかが一覧で確認できます。

これにより、何をする必要のあるかを素早く概観でき、行動の決定に役立ちます。

第5章:

クライアントのサイトの 安全性を保つ

クライアントのWordPressサイトへのハッキングや脆弱性に対処するために、様々な対策が実行できます。ある朝目覚めたらクライアントのサイトがめちゃくちゃになっていた…という事態はなんとしても防がなくてはなりません。

ハッキングやその他のセキュリティに関するリスクを最小限に抑えるためには、クライアントのサイトの安全性を高める必要があります。[セキュリティ強化プラグイン](#)などの適切なツールと、[WordPressサイトを堅牢](#)にしてサーバーの安全性を高める高度な技術を組み合わせることになります。

[クライアントのサイトの安全性を高めるための詳細ガイド](#)も別途ご用意していますが、基本的な内容をお伝えしますと、次の通りです。

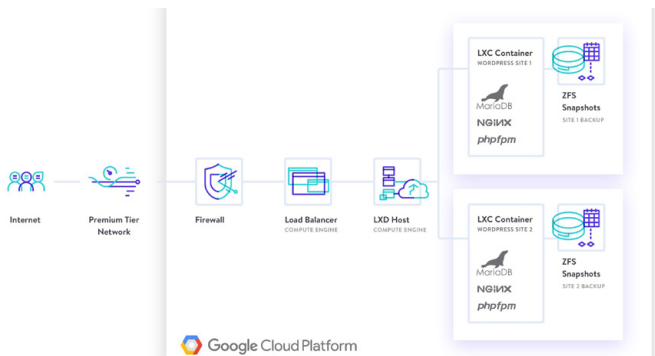
- 常に安全なパスワードを使用する
- プラグインやテーマは最新の状態にアップデートする
- プラグインの公式ページやテーマディレクトリ以外の場所で無料のテーマやプラグインをダウンロードしない
- 全てのユーザーアカウントが適切に管理できていることを確認する(役割と権限を確認)

Kinstaのセキュリティ強化策

クライアントの企業サイトを一任されているのであれば、夜中や週末にハッカーや[DDoS攻撃](#)への対策に追われる事態は避けたいものです。

|どんなに高度な技術的知識を持っていたとしても、ことサイトの保護に関して言えば、必ずいずれは深刻なセキュリティ関連の問題に直面することになるはず。

[KinstaのようなマネージドWordPressホスティング](#)であれば、これらの問題は全てお任せいただけます。次にご紹介するのはKinstaのホスティングプランで提供している[セキュリティ機能](#)のほんの一部にすぎません。



- KinstaではDDoS攻撃を検知、稼働時間を監視し、1分間に6回以上ログインに失敗したIPのアクセスを自動的に禁止
- WordPressサイトへ直接アクセスするのに利用できるのは暗号化されたSFTPまたはSSH接続のみ(FTPは不可)
- データへのアクセスを防止するために、ハードウェア・ファイアウォールの他、受動的、能動的セキュリティ策も採用
- フロントエンドからのリクエストでは、WordPressとPHPのバージョン情報が表示されない仕様であり、open_basedirによる制限により、悪意のあるコードに書き換えられやすいとされるディレクトリ内ではPHPが実行できない設計
- KinstaではGoogle Cloud Platform(GCP)上でLinuxコンテナ(LXC)を使用しており、個別のアカウントだけでなく、個別のWordPressサイトが完全に分離されている(これは多くの競合他社と比べ非常に安全性の高い方式です。またGCPでは保存データも暗号化されます)

- MyKinstaでは認証システムに基づく二要素認証(2FA)を用いてサイトを保護(2FAを有効にすると、MyKinstaにログインする度にモバイル端末またはパスワード管理アプリから取得する追加の確認コードが要求される)
- 現在インフラストラクチャレベルでCloudflareを統合中(完了すれば、Cloudflareの高度なファイアウォールとDDoS対策が利用可能に)

Kinstaの各ホスティングプランには、**厳重なセキュリティ策が組み込まれているので、安心してご利用いただけます。** Kinstaでは、全てのプランで[セキュリティ保証サービス](#)を提供しており、万一セキュリティ上の問題が発生した場合、セキュリティのプロが無料で対応いたします。

無料ダウンロード» クライアントサイトの
セキュリティ向上のための包括的ガイド



第6章

クライアントのサイトの パフォーマンスを改善 する

セキュリティ強化策、アップデート、自動バックアップをきちんと行なっていれば、基本は網羅できていると言えます。

では、次の課題は一体何でしょう?そう、スピードです!

スピードとパフォーマンスは誰もがウェブサイトを求める要素であり、あなたのクライアントもその例外ではないはずです。そのためクライアントのサイトのパフォーマンスと[ページ速度](#)を改善するのは非常に重要な課題です。

この改善にはいくつかのメリットがあります。

- 読み込みの速いページは検索エンジンの表示ランキングが高くなり、[SEO](#)を大幅に後押しする
- サイトの読み込みが高速であれば、ページが読み込まれる前にサイトを[離脱](#)してしまう訪問者が少なくなる
- スピードとパフォーマンスの最適化はしばしば「通常の」メンテナンスサービスより高く評価され、クロスセリング/アップセリングのサービスとして完璧

クライアントのサイトパフォーマンスは、パフォーマンス測定プラグインや[Google Page Speed Insights](#)などの外部ツールを使用して定期的にチェックすることができます。

クライアントのサイトの高速化に欠かせない要素

クライアントのサイトのパフォーマンスが好ましくない場合、スピードアップを試みなければなりません。

Kinstaの全てのプランには独自の[アプリケーションパフォーマンス管理\(APM\)機能](#)が標準で備わっており無料でご利用頂けます。KinstaのAPM機能ではWordPressサイトのワーカースペース、MySQLのデータベースクエリ、外部HTTPコールアウトなどに関するタイムスタンプ付きの情報を取得します。

具体的には次のような場面で[KinstaのAPM機能](#)を利用できます。

- サードパーティ製の有料のAPMツールを利用することなくクライアントのサイトを評価、トラブルシューティングできる
- MyKinstaから全てのクライアントのサイトのパフォーマンス関連の問題をデバッグできる
- クライアントに対してより技術的な報告をすることによりサービスを拡充できる

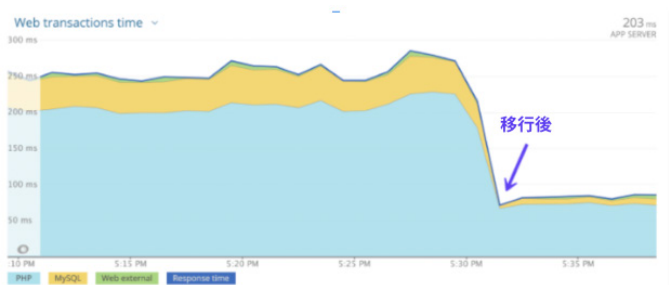
無料ダウンロード » WordPress
サイトをスピードアップする方法



独自のAPM機能に加え、Kinstaでは[スピードアップと最適化に関する詳しいガイド](#)もご用意しています。次に挙げるのはパフォーマンス改善の際に注目すべき主要な要素です。

- データベース:WordPressでの読み取りが速くなるようデータベースのテーブルを最適化する
- リビジョン:リビジョンを最適化することで、クライアントのデータベース内の不必要なコンテンツを減らし、パフォーマンスを改善できる
- アセット:テーマやプラグイン内のJavaScriptやスタイルシートが正しくエンキューされていることを確認
- 画像:画像はアップロードする前に編集するか、画像最適化プラグインを使用し、必要以上に大きな画像を読み込まないようにする(また、配信にはコンテンツ・デリバリ・ネットワーク(CDN)を利用したいところ)
- キャッシュ:キャッシュを利用するとWordPressサイトの読み込みが速くなり、ウェブサーバーの負荷が軽減される(Kinstaでは4種類のキャッシュを利用しているため、別途キャッシュ系プラグインを利用する必要はありません)

Kinstaではパフォーマンス改善のために最新の技術を利用しています。Kinstaへ移行したお客様のサイトでは、これだけで他のレンタルサーバーを利用していた時と比べ、最大200%のスピード改善が見られました。



クライアントのサイトにおける移行前後のスピード比較

パンクしたタイヤで走る車と同様に、どんなにサイトの最適化を試みても質の悪いサーバーを利用していればスピードアップは望めません。サイトのパフォーマンスの大部分はクライアントの使用しているサーバーの質に左右されます。

Kinstaのホスティングサービスが、実際どのような面で、サイト開発/管理会社やフリーランスによるトップクラスのパフォーマンス実現を支えているのか、につきましては[こちら](#)をご覧ください。

第7章

クライアントのサイトでの トラブルシューティング

クライアントのサイトでリンク切れが起きたり、画像が正しく読み込まれなかったり、プラグインやテーマの互換性がなかったりと問題が起きることもあるでしょう。

ここでは、問題を素早く特定し解決できるよう、サイトで起こる最も一般的なエラーを一覧でまとめてご紹介します。

- ページが見つからない時の[404エラーの修正](#)
- 手動でサイト内を探し回ることなく[リンク切れを修正](#)
- メディアライブラリに画像をアップロードする時に表示される[HTTPエラーを修正](#)
- 画像が読み込めない時に、[Fix Media Library](#)プラグインを使用し、画像のデータベース格納のトラブルを修正する
- WordPressデータベースの問題を特定し解決する
- SSHの[「接続が拒否されました」というエラーを修正する](#)
- [WordPressリダイレクトのベストプラクティスを参照](#)
- Kinstaの[HTTPステータスコード一覧を参照](#)
-

また、エラーを修正するだけでなく、事前に起こりうる問題点を予想することも重要です。そのために定期的に行わなければならない作業があります。アクティビティの監視と[エラーログの確認](#)です。

ユーザー	アクション	日時	ステータス
kinestabot	Namecheap (Site) CNAMEを無効化	2021年7月14日 12:48	成功
John Doe	サイト Namecheap.com, を削除	2021年7月14日 10:54	成功
John Doe	Namecheap (Site) CNAMEを有効化	2021年7月14日 10:47	成功
[Redacted]	Namecheap.com, CNAME CNAMEゾーンを削除	2021年7月14日 9:40	成功
kinestabot	Namecheap.com, CNAME CNAMEゾーンを有効化	2021年7月13日 4:56	成功
[Redacted]	Namecheap.com, CNAME CNAMEゾーンを無効化	2021年7月13日 4:55	成功
[Redacted]	サイト Namecheap.com, を作成	2021年7月13日 4:31	成功
kinestabot	Namecheap (Site) CNAMEを無効化	2021年7月13日 17:09	成功
kinestabot	Namecheap.com (Site) CNAMEを無効化	2021年7月13日 13:03	成功

MyKinstaの「活動記録」ではアクティビティを監視することができます。MyKinstaの**見本**でこの機能を無料でお試しください。

クライアントのサイトのアクティビティを監視していれば、新しいユーザーが突然追加されたり、アップロードされるべきでないファイルがアップロードされたりと、予想外のことが起きた時にすぐに気がつくことができます。

MyKinstaのアクティビティログでは、サイトの作成、削除、ドメインの変更、リダイレクトなど世界中の全ての操作が記録されます。アカウントを複数のユーザーが利用している場合、誰がどのアクションを実行したのかも分かります。

さらに、クライアントのサイト上のエラーを監視し、なるべく迅速に修正する必要があります。そんな時に便利なツールには次のようなものがあります。

- MyKinstaの「**分析**」ページは、サイトの監視、問題のトラブルシューティングを実行するのに活用できます。
- WordPressのエラーログを閲覧したり、**wp-config.php**ファイルのエラーログを有効にしたりするのもトラブルシューティングに有効です。

これらのツールを利用することで今後起きるかもしれない問題を未然に防ぐことができます。サイトがダウンしたり、正しく動作しなくなったりした時に都度修正するのではなく、事前に予防措置をとることが重要です。

次のステップは？

クライアントのサイトを管理する上でやるべきことや、責任を負うべきことはたくさんあります。それらの多くは時間とリソースのかかる作業で、効果的に合理化できれば貴社に大きなメリットがもたらされます。

100以上のサイトを管理する場合、とてつもない量の技術的サポート関連のリスクが伴います。しかし、Kinstaに移行したことでサポートの手間がざっくり50%は削減できました。弊社で管理しているサイトの運営は非常にうまくいっています。ダウン知らず、高速、セキュア、専門家のサポートも手厚く助かります。そのため、クライアントへの対応が大幅に減り、(1)クライアントの満足度が高く（定着率98%以上）(2)私の家族も養えています！Kinstaの利用で自社専門領域外の作業に手を焼くことがなくなりました。お陰様で、他のマネージドホスティングサービスでは経験したことないほど、本来の業務に専念できています。



代表Chad Barnes 氏

skyrocketwp.com

だからこそ、サイトの管理をサクサク進められるように、Kinstaでは充実したMyKinstaダッシュボードを備えた[世界最速のプラットフォーム](#)を構築しています。

拡大することが、事業の重荷になるべきではありません。むしろ、ビジネスが進むべき道を照らし出す“北極星”になるべきです。成長に伴い、仕事の質を減じてはなりません。これなしで持続的な成長は見込めないのです。

そんな経緯で、こちらの、サービスの質を落とさずに事業を拡大するためのヒントやツール、ベストプラクティスなどを集めたガイドを作成致しました。

あなたの事業のより一層の成長をお祈りいたします！

Kinstaの営業担当に
お気軽にお問い合わせください



または

MyKinstaの見本(完全無料)でサイト管理が
どれだけ楽になるかご体験ください



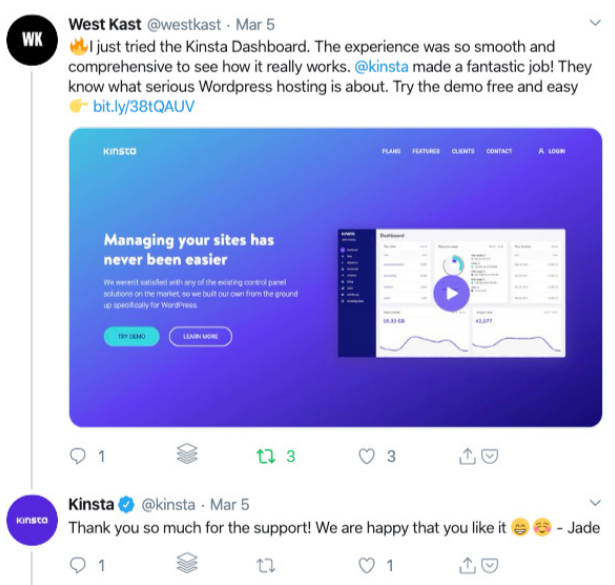
BONUS

おまけ:MyKinstaを少しだけご紹介

私たちは、市場に出回るとの管理画面にも満足できなかったため、イチから独自のダッシュボードを構築することにしました。それがMyKinstaです。

ダッシュボードの構築にあたり、あなたと同じように複数のサイトを既に管理している方々から詳細なフィードバックをいただき、そのニーズを念頭に置いてMyKinstaを開発しました。

このおまけの章では、Kinstaをご利用いただいた場合に、クライアントのサイトの管理やトラブルシューティングに使える主な機能を簡単にご紹介します。



説明を読むのが面倒…?そんな方は、今すぐMyKinstaの見本を利用して完全無料でダッシュボードをご体験ください

メインダッシュボード

[MyKinsta](#)にログインすると、まずダッシュボードタブが表示され、全てのクライアントのサイトの概要、その月間訪問者数、ディスクとCDNの使用状況、データ転送量、ユニーク訪問数などの重要な情報が簡単に閲覧できます。

クライアントのサイトの管理に必要な操作はすべて、左側のメニューからすばやくアクセスできます。



MyKinstaの「ダッシュボード」(メイン)画面

あなたの管理するウェブサイトはどれも極めて重要であるはず。ダッシュボードの右下からいつでもKinstaのカスタマーサポートにお問い合わせできる仕様です。



MyKinstaから利用できるWordPressホスティングサポート

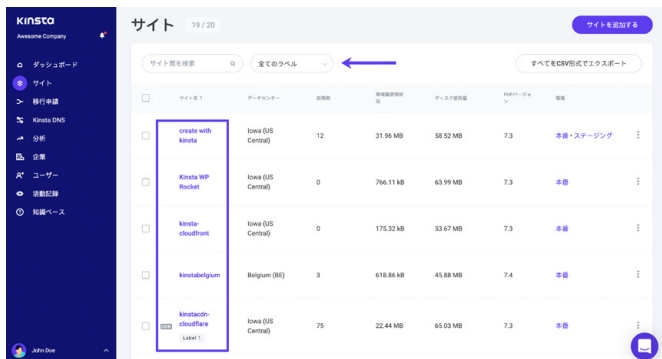
MyKinstaは完全にレスポンスで、追加のアプリは一切不要です。そのため、どこからでもサイトを管理でき、外出が多い方でも安心です。

スマートフォンから直接、バックアップを取り、移行を開始し、プラグインの更新を確認し、サポートとチャットし、WordPressサイトのキャッシュをクリアできます。

クライアントのサイトの管理

次にご紹介するのはMyKinstaの「サイト」ページです。ここではKinstaでホストし、管理している全てのWordPressサイトの一覧が表示されます。名前、合計訪問数、帯域幅使用料、ディスク使用量、PHPのバージョンで並び替えることもできます。

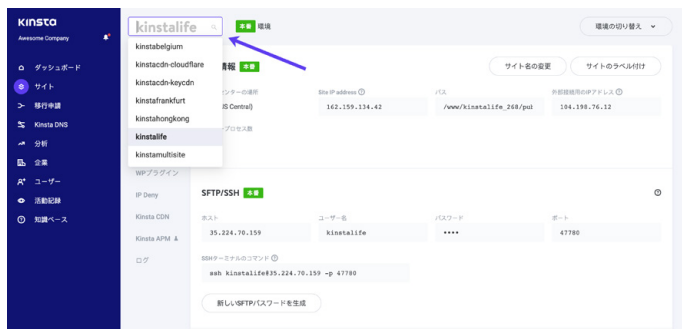
サイトを複数管理している方には、画面上部の検索機能も便利です。



MyKinstaで複数のサイトを管理

検索バーでは不十分な場合、クイックサイトナビゲーションも利用できます。これを使えば、メインの「サイト」画面に戻る必要はありません。画面上部の「サイト」をクリックすると、全てのサイトがドロップダウンで表示されます。

また、[Kinstaのサイトラベリング機能](#)を使えば個別のタグに基づいてWordPressサイトを簡単に整理し、フィルタリングすることができます。



MyKinstaのサイトナビゲーション

「サイトを追加」ボタンをクリックすると簡単に新しいサイトを追加できます。その際には、3つのオプションが選択できます。

- WordPressをインストールしない(新しいサイトのコンテナ作成のみ)
- WordPressを新規インストール
- 既存の環境を複製(本番サイトやステージングサイトを複製できます)

これらは全て、ワンクリックでインストールできます。新しいWordPressサイトをあっという間に作成できるということです。

さらに、[Google Cloud Platformのデータセンターのロケーション](#)を自由に選択できるため、クライアントのサイト訪問者に地理的に一番近い位置にサイトを配置できます。これでネットワークレイテンシを低減、TTFBを短縮し、サイトが高速に表示されるようになります。

また、[WooCommerce](#)と[Yoast SEO](#)のこの段階でのインストールも選択可能です。

[マルチサイト](#)を運営したい場合もお任せください!Kinstaのインストーラーでは、複雑なドメインマッピングをすることなく、マルチサイトのサブディレクトリやサブドメインのインストールが自動で設定できます。

<input checked="" type="checkbox"/> WordPressをインストール	<input type="checkbox"/> WordPressをインストールしない	<input type="checkbox"/> 既存の環境を複製
--	--	-----------------------------------

ドメイン名 (任意)

サイト名

データセンター

27カ所のデータセンターから選択して、サイト訪問者の近くにウェブサイトを配置することができます。

サイトタイトル

WordPressサイト管理者のユーザー名

WordPressサイト管理者のパスワード

WordPressサイト管理者のメールアドレス

使用する言語

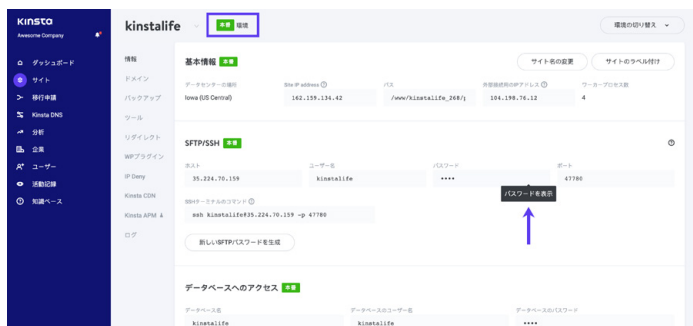
- マルチサイト化する
- WooCommerceをインストールする
- Yoast SEOをインストールする

ワンクリックインストールの選択肢

サイト情報

いずれかのクライアントのサイトをクリックすると、サイトの「情報」タブが表示されます。ここにはデータセンターのロケーション、IPv4アドレス、SFTP/SSH、データベース接続情報などが表示されます。また、この画面から、識別しやすいようにサイトの名前を変更したりラベルを付けたりすることもできます。

このインターフェースには、phpMyAdmin (Open MySQL)で直接データベースを編集することのできるリンクも表示されます。



The screenshot shows the 'Site Information' page for a client named 'kinstalife'. The page is divided into several sections:

- 基本情報 (Basic Information):** Displays domain name (kinstalife.com), IP addresses (162.159.134.42), and DNS records.
- SFTP/SSH:** Lists SFTP/SSH connections with columns for Host (35.224.70.159), Username (kinstalife), Password (masked with ****), and Port (47780). A button labeled 'パスワードを再入力' (Re-enter password) is visible.
- データベースへのアクセス (Database Access):** Shows database name (kinstalife) and user (kinstalife).

A blue arrow points to the 'パスワードを再入力' button in the SFTP/SSH section.

MyKinstaの「サイト」のサブメニューに表示されるサイト情報

「本番」/「ステージング」のステータスが表示されるため、現在編集しているのがどちらの環境であるかが一目でわかります。

便利な「クリップボードにコピー」機能があり、認証情報を簡単に外部のツール(SFTPやSSHクライアントなど)に貼り付けることができます。新しいSFTPパスワードを生成しなければならない場合もボタンをクリックするだけでOKです。

データベースパスワードの変更で手間取ることもありません。「データベースへのアクセス」セクションには、「新しいデータベースパスワードを生成する」というオプションがあります。この機能を利用すると、wp-config.phpファイルが自動で更新されます(ただし、ファイルがデフォルト設定である、サイトのルートディレクトリの中にある場合に限りです)。

データベースへのアクセス **本番**

データベース名 kinetalife データベースのユーザー名 kinetalife データベースのパスワード ****

新しいデータベースパスワードを生成 [phpMyAdminを開く](#)

サイトの選択 **本番**

GMyKinstaで新しいデータベースパスワードを生成

ドロップダウンメニューから簡単に本番環境とステージング環境を切り替えることができます。ステージング環境では新しいプラグインやテーマ、最新のPHPバージョン、コードの修正などの変更を試すことができるサンドボックスが利用できます。

準備が完了したら、ボタン1つで全ての変更点を本番サイトに反映可能です。

ステージングサイトを作成するには画面上部右側のドロップダウンメニューから「環境の切り替え」をクリックし、「ステージング環境」を選択します。既存のステージングサイトが存在しない場合、「ステージング環境の作成」ボタンから作成できます。



MyKinstaで本番環境とステージング環境を切り替える

ドメイン

次は「ドメイン」タブです。ここではクライアントのプライマリドメインとその他任意のドメインを追加できます。新規インストール時に独自のドメインを追加しなかった場合、一時的なKinstaのURL (yoursite.kinsta.cloud)が表示されます。

MyKinstaで新たなプライマリドメインに切り替える際は、ダッシュボードの[検索と置換機能](#)を是非ご活用ください。

WordPress管理画面を開くリンクもあります。



ドメイン一覧はMyKinstaの「サイト」のサブメニューからご確認頂けます。

また、ダッシュボードの各セクションにはそれぞれの機能について詳細に説明した記事へのリンクが表示されるようになっています。お客様の手間をなるべく省くために各種ページをご用意しました。

バックアップ

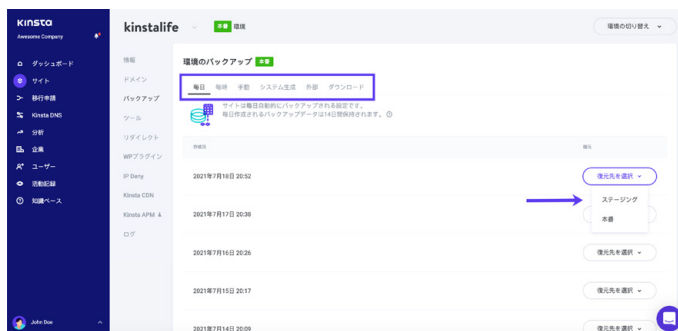
続いては「バックアップ」タブです。バックアップ作成方法について解説した際にすでに触れていますが、重要なので再度ご説明します。

クライアントのサイトの全てで、6種類のバックアップオプションが利用できます。

1. 毎日:毎日自動でバックアップが作成されます。
2. 1時間に1回:1日1回のバックアップでは不十分というフィードバックを多くいただき、この機能を実装しました。非常に動的なサイト(EC、LMS、メンバーシップサイトなど)を取り扱っている方には、こちらの1時間に1回のバックアップ作成オプションが便利です。
3. 手動:手動のバックアップを最大5つ作成できます。例えばステージングサイトでは試すことのできない変更を本番サイトに加える時などにお勧めします。
4. システム生成:特定の状況で自動システムバックアップが作成されます(例えばバックアップ復元時には別個のシステムバックアップを自動的に生成)。
5. 外部: 追加のアドオンとして、自動で、WordPressサイトをAmazon S3またはGoogle Cloud Storageに、週または月に1回の頻度でバックアップすることができます。
6. ダウンロード:バックアップは多いに越したことはありません。予備のバックアップを手動でダウンロードして別の場所に保存したいという方にお勧めです。1週間に1回(1サイトにつき)ダウンロード可能なバックアップデータを作成するこ

とができます。サイトのファイルとMySQLデータベースが格納されたzipファイルが生成されます。

毎日、1時間に1回、手動、システム生成のバックアップはご利用中のプランに応じて、14日、20日、30日間のいずれかの期間保存されます。バックアップからサイトをワンクリックで簡単に復元することができます。さらに、ステージングサイトでデータを使用して復元することも可能です。



MyKinstaにあるバックアップの選択肢

ツール

次のセクションは「ツール」タブです。ここにはとても興味深い機能が揃っています。具体的には次のようなことができます。

- サイトのキャッシュをクリア:これは、サイトが最新の状態で表示されるように強制的にキャッシュを削除するのに便利です。Kinsta MUプラグインがデフォルトですべての新しいサイトにインストールされます。
- Let's Encryptで無料SSL証明書を有効にするか、別のSSL証明書を追加
- すべてのトラフィックを強制的にHTTPS接続にリダイレクト
- サポートされているPHPエンジン(PHP 7.2、7.3、7.4、8.0)

間での切り替え

- PHPの再起動:これにより、サイトの速度の低下や接続の問題につながる問題が解決できることがあります。
- 自分のカスタムライセンスキーでNew Relic監視機能を有効化
- 一括検索/置換を実行



MyKinstaで利用できる各種機能(ツール)

パスワードの保護 (htpasswd)

メンテナンスや開発中にクライアントのサイトを閉鎖したい場合は、[ワンクリックパスワード保護 \(htpasswd\)ツール](#)をご利用ください。準備ができるまで一般の人がアクセスできないようになります。



MyKinstaで.htpasswd 保護を有効化

リダイレクト

MyKinstaダッシュボードから直接[リダイレクトルール](#)を追加することができます。リダイレクトルールを利用すると特定のロケーションから別のロケーションへとシームレスにトラフィックを移行することができます。特に、404エラーの防止、変更を加えた際に適切なSEOのベストプラクティスが実施されるようにしたい場合、訪問者を正しいロケーションにルーティングしたい場合に便利です。

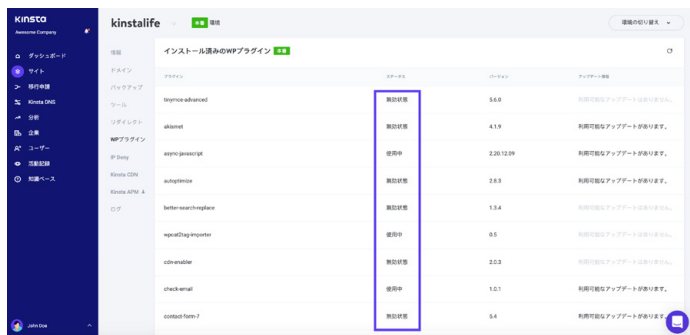
CSVファイルへのルールの一括インポートやリダイレクトのエクスポートも可能です。また、正規表現にも対応しています！



MyKinstaでのリダイレクト

プラグイン

続いては「プラグイン」タブです。ここでは有効化されているものも無効化されているものも、全てのプラグインが一覧表示されます。現在のバージョン数と、利用可能なアップデートが存在するかどうかも確認できます。



MyKinstaのプラグイン一覧

Kinsta APM (アプリケーションパフォーマンス管理)

先ほども触れましたが、重要な点なので再度ご紹介します。

[全てのプラン](#)にて無料で利用できる Kinsta独自のAPM機能はクライアントのウェブサイトのトラブルシューティングやスピードアップに大変便利です。

データを確認することで読み込みが遅いページを分析し、その原因を特定することができます。

他のAPMツールと同様にKinsta APMのエージェントによりサーバーのCPUとRAMリソースに追加の負荷がかかり、WordPressの読み込み速度を一時的に遅くすることがあります。

クライアントのサイトのパフォーマンス関連の問題を診断している最中はKinstaのAPMのみを有効化することを強くおすすめします。



MyKinstaでKinsta APMを有効化

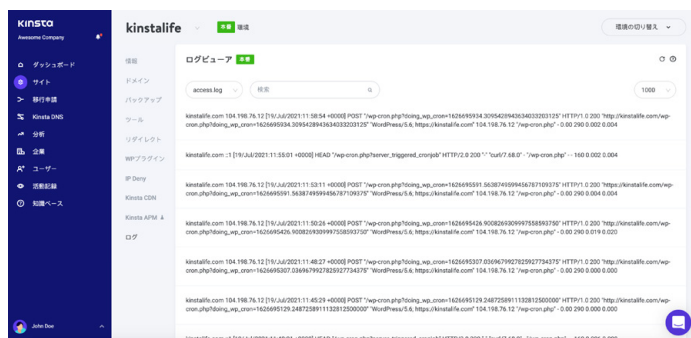
ログ

次は「ログ」タブです。ログファイルをダッシュボードから閲覧できるので、SFTPクライアントやコマンドラインを利用する必要がなく、素早くエラーを修正できます。

MyKinstaのダッシュボードから次の項目を直接閲覧できます。

- error.logs
- kinsta-cache-perf.logs
- access.log files

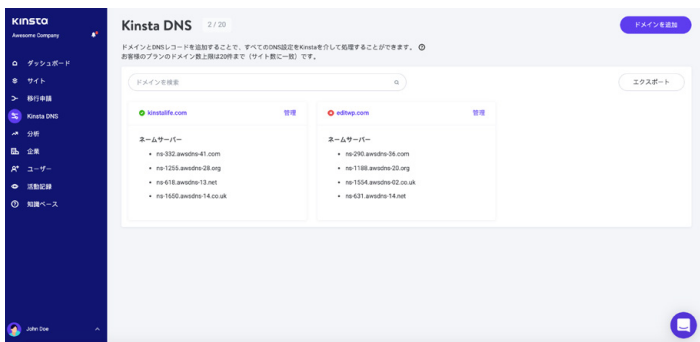
デフォルトでは、直近1,000行のデータが表示されます。ドロップダウンから選択して、20,000行まで表示できます。検索と強制再読み込み機能もあります。



MyKinstaのaccess.log ファイル

Kinsta DNS

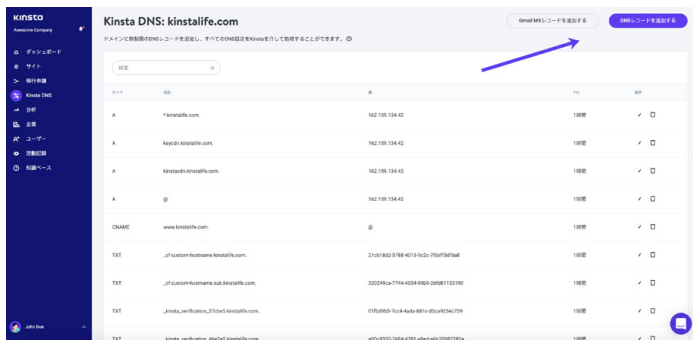
KinstaのAmazon Route 53を利用したプレミアムDNSサービスを有効にすると、「Kinsta DNS」セクションで全てのDNSレコードを管理できます。また素早く変更を加えられるインライン編集機能にも対応しています。



MyKinstaのKinsta DNS

S次のレコードに対応しています。

A、AAAA、CNAME、MX、TXT (SPFはTXTとして設定できます)、SR また、TTL値も変更できます。



MyKinstaでDNSレコードを編集

サイト分析

Kinstaではデータを重要視しています。この「分析」セクションはお勧めの機能の一つです。ここではクライアントのサイトで起きているあらゆることに関するデータを確認することができます。このセクションはいくつかの項目に分かれています。

- リソース:訪問数、帯域幅使用状況、転送に最もバイト数のかかったリクエスト、最も回数の多いリクエスト
- CDN使用状況:帯域幅使用状況、最もリクエスト数の多いファイル、最もバイト数の大きいファイル、最もバイト数の大きいファイル拡張子、HTTPレスポンスコードの内訳
- デバイス:モバイル版とデスクトップ版のトラフィックの比較
- パフォーマンス:PHP+MySQLの平均レスポンスタイム、ワーカープロセスの制限、PHPのスループット、AJAXの使用状況、上位のPHP+MySQLの平均応答時間、所要時間上位の最大アップストリーム時間
- 応答:レスポンスコードの内訳、レスポンスの統計、500エラー/400エラーの内訳、リダイレクトの内訳、404エラーの内訳
- キャッシュ:キャッシュ構成要素の累計、キャッシュ構成要素のチャート、上位のキャッシュバイパス
- 位置情報とIP:上位の国、上位の地域、上位の都市、上位のクライアントIP

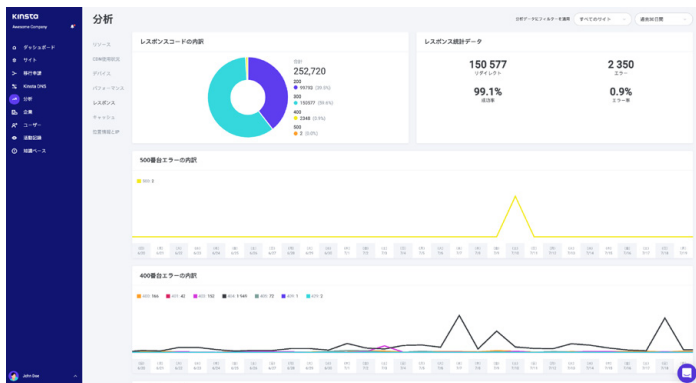
次の画像はMyKinstaで閲覧できる統計のほんの一例です。サイトを組み合わせた合計値を確認できるフィルター機能もありますし、それぞれのサイトを個別に確認することもできます。



MyKinstaのリソース確認画面

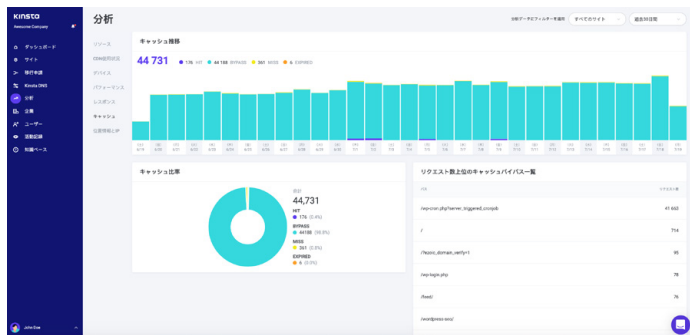
また、直近24時間、7日、30日の統計に表示を切り替えることもできます。グラフ上の特定の日時を選択すると、前日に比べた増減など、比較データが表示されます。

応答確認画面では、レスポンスコードの内訳、レスポンスの統計、エラー、エラーの割合などが確認できます。



MyKinstaの応答の分析

また、キャッシュのセクションでは、キャッシュから配信された、キャッシュをバイパスした、キャッシュミス、期限切れのリクエスト数などをそれぞれ確認できます。



MyKinstaでのキャッシュの分析

実際の動作を見てみたい方は
MyKinsta見本アカウントをお試しください!



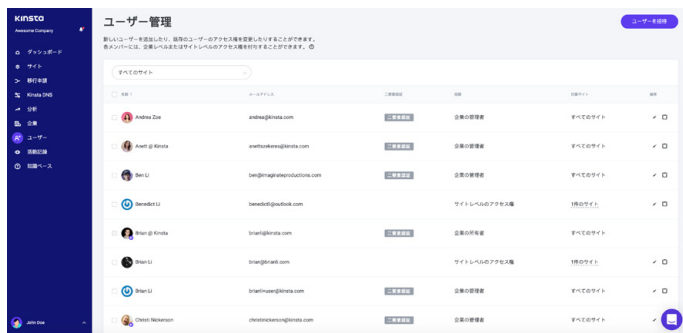
ユーザー管理

Kinstaの便利なマルチユーザー機能では、何名でもユーザーを追加することができます。サイト全体のアクセス権限を付与することも、請求関係だけに制限することも、サイトの一部にだけ開発者または管理者権限を付与することもできます。

MyKinstaでは、ユーザーを企業レベルもしくはサイトレベルに設定することができます。企業レベルのユーザーは企業の情報にアクセスできますが、サイトレベルのユーザーは個別のサイトにしかアクセスできません。

企業レベルではさらに3つの権限から選べます。企業の管理者は全てのサイトを含め、あらゆる情報にアクセスできます。企業の開発者は全てのサイトを管理することができますが、会社の請求や設定に関する情報を閲覧することができません。請求管理者は企業の設定や請求に関する情報にのみアクセスできます。

サイトレベルユーザーには全てのサイト環境(本番環境およびステージング環境)にアクセスできるサイト管理者か、ステージング環境にのみアクセスできるサイト管理者のどちらかの権限を付与できます。

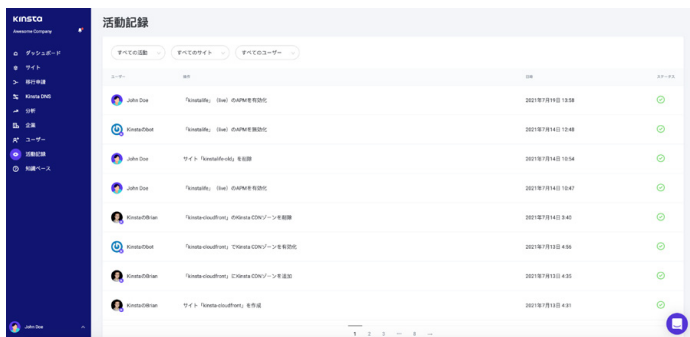


MyKinstaのマルチユーザー管理

ユーザーレベルについての詳細は、[MyKinstaのユーザー役割の仕組み](#)についてのページをご覧ください。

アクティビティログ

アクティビティログの機能も非常に便利です。ここではサイトの作成、削除、ドメインの変更など、直近8週間以内に行われたアクティビティが全て閲覧できます。アカウントを複数のユーザーが利用している場合、世界のどこにいても全てのユーザーのアクティビティを記録できるため、誰がどんなアクションをとったかが分かります。



MyKinstaアクティビティログ

ユーザー通知

事業を順調に進める上で役立つ通知機能もいくつかご用意しています。

「ユーザー設定」のメニューでは、**超過通知**と**自動請求メール**が表示されます。

超過通知はその名のとおりの役割を果たします。プランで規定された訪問数、CDN帯域幅、ディスク容量の上限を超えた場合、貴社クライアントのサイトはこれまでどおり動作しますが、**超過料金**が発生

します。超過料金の発生を防ぐために、使用状況が80%、100%に達したときにそれぞれ通知をお送りします。

[自動請求メール](#)機能では、PDF形式の請求書を添付したメールでお送りします。こちらは「企業」セクションにアクセスする権限を持つ全てのアカウントに送付されます。

[MyKinsta通知センター](#)では新機能、サイト情報、サイト移行のステータスなどの最新情報を確認することができます。

SSH鍵

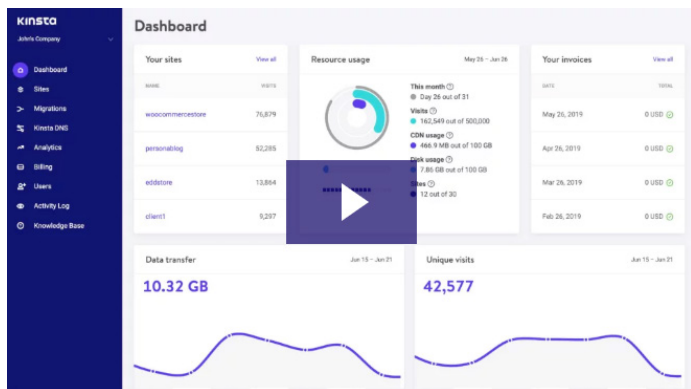
Kinstaの全てのプランでは、サーバーにログインするのに最も安全な方法で、パスワードが不要なSSHによるアクセスが可能です。

SSH公開鍵を追加するには「ユーザー設定」へ移動します。すると、ユーザープロフィールの一番下にSSH鍵とラベルを追加できる項目があります。



MyKinstaのSSH鍵

説明はこのくらいにして、実際にMyKinstaダッシュボードを見てみましょう。



MyKinstaをチェック



ご興味ございましたら、[見本アカウント](#)をご予約ください。Kinstaのスタッフが疑問点に喜んでお答えいたします。



KINSTA